

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会報

Japanese Association of Clinical Developmental Psychologists

第17号(2011年8月10日発行)

発行 日本臨床発達心理士会中国・四国支部
編集 日本臨床発達心理士会中国・四国支部会報編集委員会
事務局 〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科幼児教育学研究室
TEL:0824-22-7111(内線5680) FAX:0824-24-5261

目次

- 1 ご挨拶
- 2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第9回総会のご報告
- 3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第24回研修会のご報告
- 4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第25回研修会のご案内
- 5 編集後記

1 ご挨拶

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部
支部長・幹事 猪木 省三

暑中お見舞い申し上げます。会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

支部長・幹事を務めております、広島県の猪木省三と申します。任期は2011年度(次回の支部総会)までです。2007年度から支部長・幹事を務めております。

本年3月11日に発生した東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を祈っております。

日本臨床発達心理士会では、臨床発達心理士・東日本震災支援対策本部を開設し、災害支援活動を行っております。中国・四国支部としても、10万円の募金をいたしました。募金及びボランティアの募集は現在も行っております。皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

中国・四国支部の会員数も約200名となりました。今後は、支部の分割、日本臨床発達心理士会の全国大会の開催など、懸案となっている事項もあります。支部のこれまでの活動を維持するとともに、さらに一層の発展ができるよう、微力ながら役割を果たして参る所存です。

本年度第2回目の中国・四国支部主催研修会を9月に徳島県で開催する予定です。徳島県の会員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。また来年になってから、本年度第3回目の支部主催の研修会を開催する予定です。県別の会員数やこれまでの開催実績に配慮して、研修会の開催地を選んでおります。会員の皆様の研修会への幅広い、多くのご参加を、何卒よろしくお願い申し上げます。

各地区で行われる研究会、事例検討会等に対して、支部から多少の補助金を支出するようになっております。予算に限りがありますが、ぜひご活用いただければと存じます。

では、これからも、会員の皆様のご支援、ご協力、ご指導、ご鞭撻を、心よりお願い申し上げます。

2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第9回総会のご報告



2011年度中国・四国支部総会を以下の通り行いましたので、ご報告いたします。

1. 日 時 2011年5月29日(日) 13:00~14:00
2. 場 所 愛媛大学教育学部3号館6階 音楽リズム室
3. 議 題
 - (1) 2010年度活動報告
 1. 総会の開催 2010年5月30日(岡山県生涯学習センター)
 2. 研修会等の開催
 - (1) 第21回支部主催研修会
「認知症高齢者との対話療法の可能性」
進藤貴子先生(川崎医療福祉大学医療福祉学部教授)
2010年5月30日(日), 岡山県生涯学習センター
 - (2) 第22回支部主催研修会
「事例から学ぶ発達支援の在り方 発達障害児(者)のライフステージにおける課題と支援」
長尾秀夫先生(愛媛大学教育学部教授)」
2010年9月26日(日)愛媛大学教育学部
 - (3) 第23回支部主催研修会
「自閉症スペクトラムー早期発見と早期介入の重要性について」
畠中雄平先生(高知県立療育福祉センター副センター長)」
2011年1月29日(土), 高知県教育センター分館
 3. 会報の発行・ホームページによる情報の発信
 - (1) 会報を2回発行(5月, 8月)
 - (2) ホームページを随時更新(<http://www.geocities.jp/jacdpcs/>)
 4. 役員会の開催 2010年5月(岡山県生涯学習センター)
- (2) 2010年度会計報告
会計監査の監査報告とともに、下記の通り決算報告は承認されました。

2010年度 収支決算書(2010年4月~2011年3月)

| | 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 |
|------|-----------|-----------|---------|---------|
| 収入の部 | 支部会費 | 320,000 | 366,000 | -46,000 |
| | 利子 | 0 | 145 | -145 |
| | 仮計 | 320,000 | 366,145 | -46,145 |
| | 前年度繰越金 | 691,353 | 691,353 | 0 |
| 合計 | 1,011,353 | 1,057,498 | -46,145 | |

| | 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 |
|--------|-----------|-----------|----------|---------|
| 支出の部 | 事務費 | 50,000 | 30,130 | 19,870 |
| | 研修会開催費 | 250,000 | 107,848 | 142,152 |
| | 事例報告会等経費 | 45,000 | 12,000 | 33,000 |
| | 郵送費 | 20,000 | 14,000 | 6,000 |
| | 役員旅費 | 50,000 | 86,060 | -36,060 |
| | 予備費 | 20,000 | 0 | 20,000 |
| | 仮計 | 435,000 | 250,038 | 184,962 |
| 次年度繰越金 | 576,353 | 807,460 | -231,107 | |
| 合計 | 1,011,353 | 1,057,498 | -46,145 | |

- (3) 2011年度活動案計画
1. 総会の開催
 2. 研修会等の開催
 3. 会報の発行・ホームページによる情報の発信
 4. 事例報告会等の開催
各地域での開催の活性化
 5. 役員会の開催
 6. その他必要な活動
- (4) 2011年度予算案

提出された予算案に対し、下記の通り承認されました。

2011年度予算(2011年4月～2012年3月)

| 科 目 | 予算額 | 科 目 | 予算額 |
|---------|-----------|-------------|-----------|
| 収入の部 | | 支出の部 | |
| 1. 支部会費 | 320,000 | 1. 研修会等開催費 | 250,000 |
| 2. 利子 | 571 | 2. 郵送費 | 40,000 |
| | | 3. 事務費・予備費 | 50,000 |
| | | 4. 事例報告会等経費 | 60,000 |
| | | 5. 震災関係寄付金 | 100,000 |
| 仮 計 | 320,571 | 仮 計 | 500,000 |
| 前年度繰越金 | 807,460 | 次期繰越金 | 628,031 |
| 合 計 | 1,128,031 | 合 計 | 1,128,031 |

前年度より支部規程改訂により総会の定足数が廃止されましたので、出席者賛成多数のもと総会は成立致しました。

3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第24回研修会のご報告



中国・四国支部第24回研修会は、2011年5月29日(日)愛媛大学教育学部において、支部の第9回総会に引き続いて、午後2時から午後5時まで開催されました。講師の花熊曉先生(愛媛大学教育学部教授)には、「通常の学級における特別支援教育～個のニーズに対応できる学級・授業づくり～」と題してとても学びのあるお話をしていただきました。ご講演では、まずPart1として、通常の学級において特別支援教育の取り組みの方向性と意義について、理論的な側面を含めてお話していただきました。その後、特別支援教育



の観点に立った通常の学級の授業づくり(Part2)と学級集団づくり(Part3)について、多数の具体的な事例と写真を交えながら、分かりやすくご紹介いただきました。当日は、台風が接近するとともに荒れた天候の中でしたが、それにも関わらず27名の参加者がありました。また、臨床発達心理士会各支部主催の研修会として資格更新ポイントは1ポイント(3時間)でした。

4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第 25 回研修会のご案内

9月、阿波の国にて次のような研修会が開催されます。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。事前の申し込み及び参加費は不要です。研修会の参加者ポイントは1ポイント（3時間）です。

1. 日 時 2011年9月11日(日)12:30～受付 13:00～16:00

2. 場 所 徳島大学総合科学部1号館301号室

(徳島市南常三島町1丁目1番地)

<http://www.tokushima-u.ac.jp/ias/>

※ 駐車場利用可。開始の1時間程前にゲートが開放されます。

3. 講 師 椎野 広久先生 (こどもの発達研究室きりん)

4. テーマ 「感覚統合訓練の実践と理論」

感覚統合理論は、学習や行動に困難を抱える子どもたちの理解と支援を目的に、アメリカの作業療法士、ジーン・エアーズ博士によって体系化されたものです。日本でも小児の作業療法士らによって、実践と研究が重ねられてきました。感覚統合理論は、子どもの発達や教育に欠かせない基礎理論のひとつで、誰でも学ぶことができます。子どもたちの凸凹した発達を上手く捉えて、発達障害にならないように、子どもの発達と子育てを応援して行きましょう。

5. アクセス



5 編集後記

記録的な猛暑が続く中、いまだ避難生活を余儀なくされている被災者の方々を、心よりお見舞い申し上げます。東日本大震災に関連して、日本臨床発達心理士会では、引き続き災害支援活動を行っています。中国・四国支部HPにもあります、募金及びボランティアの募集です。先日メールまたは郵便でお知らせしました、福島県相馬市における相談・援助事業へのご協力もあわせてお願いいたします。

また、9/3(土),4(日)には日本臨床発達心理士会第7回全国大会が「発達障害支援の最前線－インクルーシブな社会の実現をめざして－」を大会テーマに、横浜国立大学にて開催されます。会員みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

支部の活動をますます活性化させるために、会員みなさまからの情報もどしどしお寄せください。支部からの補助金の活用も含め、各地区での活動や講演会などのお知らせも事務局や下記の会報担当までお寄せいただければ、メール配信やHP掲載などで情報提供をいたします（支部ホームページ <http://www.geocities.jp/jacdpcs/>）。

会報につきましても会員相互の情報交換等に役立つよう、引き続き、会員の皆様から「会員紹介」「耳より情報」など、自薦他薦を問わずご投稿を広く募っております。気軽に奮ってお寄せ下さい。

(宛先：yashima●hbg.ac.jp：ご利用の際は、●を@にかえてご入力ください)

(編集委員会)